

## 令和4年度 第1回香芝市男女共同参画推進委員会 議事要旨

1. 開催日時：令和4年8月29日（月） 午後2時～3時

2. 場所：香芝市役所会議室棟 第6会議室

3. 議事

※■：事務局より説明 / 主な意見：○委員、●事務局

### (1) 第3次男女共同参画プラン進捗状況調査の内容と評価方式について

■事務局：案件説明（資料1、資料2、資料3）

○委員 資料2の事業計画で「配布する」という項目が多いが、配布した先を考えて、配布したその先の人と協働して導き出す目標というか施策が全体的に大事と思う。

●事務局 冊子を配布する段階でどこまで広がったか把握しづらいため、資料3の成果指標一覧で、令和13年の目標値に対してどこまで進んだか、市民意識調査や事業意識調査の結果で市民の意識がどのように変化したか測っていくつもりである。アンケートは毎年実施しているものでもないため、来年度に対して、進捗は測ることができない。

○委員 「香芝市企業内人権教育推進協議会において、啓発物品及び冊子を会員企業に配布する」という項目が多いが、同じところに啓発をしていくよりは、担当課と連携してふたかみ文化センターや商工会に加入している香芝市内の全ての企業が集まる会議などがあるときに配布することは可能か。

●事務局 担当課に伝えて、企業内人権教育推進協議会以外のところにも配布や啓発ができるように工夫をしてほしいと伝える。

○委員 広めるという意味で冊子を配布するという行為自体が古いのでは。WebやLINE等に掲載するだけでも簡単に広まるし、若い人を含め、多くの人に見てもらえることができるため、その広め方のほうが効率がいいのでは。

○会長 若い方に対象者を広げるという意味で、これからの課題である。担当課と連携を取りながら、広めていければと思う。

○委員 資料2の施策の内容で、「子育て中の人や託児所を設置することで、イベントに参加しやすくする」というのがあるが、子ども同伴可能な講座と子ども同伴不可な講座と両方作ることが大事だと思う。多様性や共生社会といったような支援が広まっていて、それを表現するために母子・父子同伴を含め、子どもたちが一緒にいる機会をうたうことで、多様性のある社会や、色々な立場の人が参加する機会みたいなものを、実際その場に足を運んで参加する

人が、意識した中で参加できるようにそういう機会を作るというのが大事だと思う。

- 委員 資料2の評価で、配布するところをLINE等色々な媒体含めた方がいいが、可能であれば印刷枚数等数字を入れた方がいいと思う。
- 事務局 取組結果の時に数字が分かるものは、数字を入れて提出するように全庁に案内する。
- 委員 効果の記入が難しいと思う。何かいい方法はないか。
- 事務局 効果の測定は、基本的には各課で自己評価を行い、講座の回数等その点は評価しやすい。効果を測定しにくい点は、事業所アンケート調査等で5年に1度見直しをする際に測定できればと思う。
- 委員 効果が分からないのであれば、2年に1度等期間を短くしてアンケートを実施することはできないのか。
- 事務局 香芝市全体でアンケート実施しており、何回もアンケートを行うと、ご家族で複数回回答者に該当する方が出てくるし、費用や事務料もかなりかかるため、中間見直しの5年に1度としている。
- 委員 「DV被害者・相談マニュアル」を参考に相談業務を行うとあるが、年に1回でもDV用の研修を行うことが必要だと思う。
- 委員 資料2の3ページの上から7個目に「生徒が自分自身を守ることや相手を傷つけないことについて、更なる理解を深める必要がある」とあるが、具体的に記入してほしい。
- 事務局 取組結果の時に具体的な内容を記入してもらうように努める。
- 会長 学校現場はどのようになっているか。
- 委員 学校でも職員向けに研修があり、与えられた研修とは別に学校に人権教育があるため、ビデオ学習等で子どもたちに教えている。校長会等で学校支援室に全て情報共有しているため、内容は理解してもらっていると思うが、計画でどのようなことをするか記入してほしい。
- 委員 研修を行うとなれば、学校支援室に相談したり、学校支援室から紹介してもらったり、学校支援室と相談しながら不定期だが研修を行っている。
- 委員 資料2の2ページの1番下に「県などが開催する研修情報のチラシによる情報提供を行う」とあるが、自治会によって男女共同参画への理解度が違うため、年に1回研修会を行ったり、会議の時間の中で男女共同参画について話をする時間を設けることはできないのか。
- 事務局 男女共同参画を情報提供だけでなく、研修会参加を促していこうと思う。
- 委員 その点にあわせて、資料2の4ページの下から2番目の防災組織でも女性ならではの視点もあるし、まずは防災活動をしながら、新しい自治会の形を作っていければと思う。

- 委員 災害が発生した際に女性しかわからない点もあるため、女性がいたほうが良いと思う。
- 委員 今は少ないが、性別で分けるのではなく、それぞれの性別に理解があると思えると思う。そのような人が増えてほしい。
- 委員 資料2の4ページ47番で多言語による情報提供とあるが、英語しか書いていないが、英語を理解できる人が全てではないため、中国語や韓国語、ベトナム語もあったほうが良いと思う。
- 事務局 技能実習生等アジア圏の方も多く香芝市に来ていただいているが、まずは多くの人に伝わるように英語から始めている。
- 委員 言葉だけでなく、文化の違い等ギャップやソフト面を埋める対策はあるか。
- 事務局 手掛かりとして、市民団体で日本語を勉強したい外国人向けに日本語教室を開催している。英語以外の言語を母語としている方にも希望されれば参加してもらえる施策である。マンツーマンでそれぞれの日本語能力に合わせて講義をしていくものになっている。
- 会長 香芝市では国際交流員が働いているため、その方の力を借りながら、香芝市は多様性に優しい街というのをアピールしていきたい。  
今出た貴重な意見は事務局で担当課に伝えてほしい。
- 事務局 各事業を実施している担当課にフィードバックをしていく。

## (2) その他

- 事務局 案件説明  
今後のスケジュールについて  
委嘱について

以上